

プラセンタ注射 説明・同意書

ふりがな

お名前： _____

生年月日： _____年 _____月 _____日

ご住所： _____

電話番号： _____

ラエンネック・メルスモン（以下、プラセンタ）は、ヒト胎盤（プラセンタ）から生理活性成分を抽出した医薬品です。プラセンタについて以下の説明を十分に理解していただいた上で、プラセンタを投与することに同意するか、しないかを担当医師にお伝えください。

プラセンタの主な作用

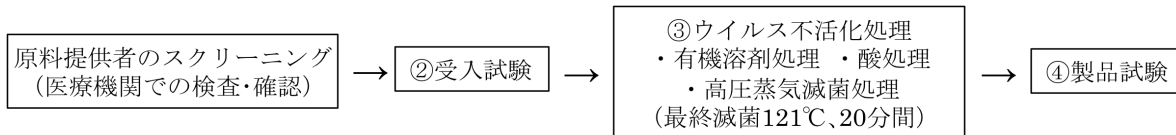
①美白・シミ軽減効果、②疲労軽減・疲労回復、③アレルギー性鼻炎・花粉症の軽減、④肩こり・腰痛、⑤更年期障害、⑥肝疾患の場合：肝組織修復、脂肪減少・脂肪変性の改善

副作用

①注射部位の疼痛、過敏症（発疹・発熱・掻痒感など）、注射部位の硬結
②ショック：ヒト組織由来のタンパク・アミノ酸製剤のため、まれに生じることがあります
上記の症状が出た場合あるいは不安に思われた場合は、必ず担当医師にご相談下さい。

ウイルスや細菌などに対する安全性

ウイルスや細菌が製品に混入しないようにするため、次のような汚染防止対策を講じております。



①原料提供者について医師によるウイルス等の感染症スクリーニングを実施。

②受入試験：B型肝炎、C型肝炎、エイズ（後天性免疫不全症候群）のウイルス検査に適合した原料を使用。

③製造工程：科学的に証明された種々のウイルス不活化処理を実施。

④最終製品：B型肝炎、C型肝炎、エイズ、成人T細胞白血病、リンゴ病のウイルス検査を実施。

ウイルス等が陰性化していることを確認。

プラセンタを含めヒト胎盤を原料として製造される医薬品の投与により、感染症が伝播したとの報告は現在まで国内・海外ともにありません。しかし変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）等の伝播のリスクを理論的には完全に否定することはできません。このことから輸血やプラセンタを含めヒト組織や血液を原料とした製品を1回でも使用した方は**献血**ができなくなります。

* 昭和49年の発売開始以来、30年以上プラセンタ投与によるB型肝炎、C型肝炎、エイズ、vCJDなど感染症の報告はありません。

同意書

上記のプラセンタの作用、副作用および安全性について理解し、プラセンタを使用することに同意します。

同意日： _____年 _____月 _____日

氏名： _____